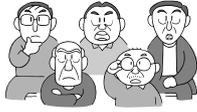


豊岡市青少年センター からののお知らせ

30周年を迎えた 市青少年補導委員協議会

市では、青少年の補導活動を推進し、非行を防止するとともに、健全な育成を図ることを目的として、豊岡市青少年センターを設置しています。その中で、青少年センターの補導活動を円滑に実施するため、青少年補導委員で構成する協議会を組織しています。この協議会は、昭和54年1月に結成大会を行っており、今年度はちょうど30周年に当たります。この間、補導委員として活躍された方は、約600人にのぼります。



初期の活動のトピックスとしては、昭和55年5月、補導委員から市内にポルノ雑誌の自販機が設置されたという情報に対して、撤去運動を行い、稼動前に撤去させたということがあります。

城崎、出石地域にも 補導委員組織が発足

合併して3年目を迎えた今年度は、新たに城崎、出石地域に合わせて14人の補導委員が誕生しました。これにより、現在の補導委員数は92人となりました。今後は、竹野、日高、但東地域での補導委員誕生を目指します。

青色灯パトロール車で巡回

青少年センターでは、平成17年度から青色灯パトロール車を導入し、巡回活動を続けています。この活動は、自主防犯パトロールとして、警察から許可を受けています。また、補導委員の協力を得ながら、次の事業を続けていきます。

- 昼間、夜間の補導巡回活動
- 昼間、夜間とも月に5回程度実施しています。
- 9グループによる各地区の巡回活動



青色回転灯パトロール車での街頭活動
(平成19年7月24日)

豊岡、城崎、出石地域に現在9グループが組織されており、身近な地域の巡回活動と地区内の危険箇所の把握、有害環境等の情報提供などを定期的にを行っています。補導委員の研修活動
年2回実施しています。今年度は岡山少年院を訪ね、実地研修を実施しました。相談活動
非行、いじめ、不登校、親子関係、友達関係などの相談を受け付けています。直接センターにお越しいただくか電話で相談ください。

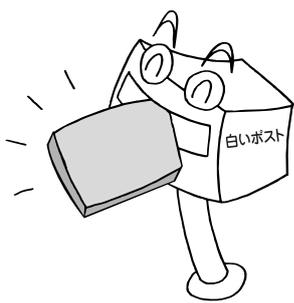
豊岡こうのとりライオンズクラブから市へ 白いポスト3基の 寄贈を受けました

豊岡こうのとりライオンズクラブ(山本綾乃会長)から市へ、白いポスト(有書図書・DVD等の回収ボックス)3基の寄贈を受け、12月25日、市役所前で贈呈式を行いました。



白いポストの前で中貝市長に目録を贈呈する
こうのとりライオンズクラブの役員の方々

白いポストは、豊岡地域に3か所設置していますが、3基はいずれも老朽化しており、順次新しいものへの取替えを検討中でした。今回の寄贈を受けた3基は、市役所前1基の交換、城崎地域での2基の新設に利用する予定としています。さらに今後は、竹野、日高、出石、但東地域にも新設したいと考え



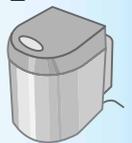
最近の白いポストでの回収実績は、写真雑誌が月に20冊、DVDが5枚程度です。青少年を有害環境から守るという目に見えない地道な活動ですが、市民の皆さんの理解と協力をお願いします。

豊岡市青少年センター
(豊岡市教育委員会内)
☎24・6666(直通)
電話相談フリーダイヤル
0120 01 7867

環境あれこれ

12

家庭ごみ減量の強い味方「生ごみ処理機」



環境に関する問題について、市の取組みなどをシリーズでお知らせします。《問合せ》生活環境課

市では、家庭から出るごみの量を減らすため、電気式生ごみ処理機の購入に対し、補助を行っています。

本年度までにこの制度を利用して購入された生ごみ処理機の台数は、旧市町で補助したものを含めると約2千台にも上り、市全体の約15世帯に1世帯が生ごみ処理機を設置している計算となります。

電気式生ごみ処理機とは？

電気式生ごみ処理機とは、電気で作動し、生ごみを粉砕や分解することによって減容・減量させる機械です。

処理方式は、「乾燥式」と「バイオ式」に大きく分けられ、「乾燥式」は、温風で生ごみを乾燥する方法で、臭いが発生しにくく、屋内に設置することもできます。一方、「バイオ式」は、微生物の力を借りて生ごみを分解する方法で、処理された生ごみは堆肥とし

て生まれ変わり、花壇や家庭菜園などで利用することでリサイクルできます。

また、最近では、両方の特徴を併せ持った「ハイブリッド式」というものもあります。

それぞれの処理方式により差はありますが、約4分の1から20分の1程度にまで減容ができます。

生ごみ処理機利用者の声

生ごみ処理機を利用されている方々に、その効果をお聞きしました。

まず、機器を購入した理由としては、「生ごみを減量したい」や「生ごみの保管に困っていた」などの意見が多く、皆さんが毎日大量に発生する生ごみの処分や、保管中の腐敗や悪臭に苦心されている様子がうかがえます。

次に、効果があった点をお聞きしたところ、「ごみ出し回数

数が減った」と減容効果を実感されている意見や「毎日処理でき、台所の嫌な臭いが無くなった」など衛生面でも効果があつたとの意見が多く、約8割の方が「期待どおりの効果があつた」と回答されました。

また、期待どおりでなかった点として「処理に時間がかかる」「臭いが出る」「電気料金が高い」などが挙げられました。ただし、この中には機器の処理容量や処理方式を見直すことで解決できる問題もあります。

機器の購入前には、生ごみの量や設置場所、ランニングコストなどをよく考慮し、わが家に合った1台を選ぶことが大切です。

上手に家庭ごみを減量するには？

今回紹介した生ごみ処理機による処理は、生ごみを減量する最後の手段です。処理機に頼る前にまず、食品の買い過ぎや料理の作り過ぎに注意するなど、生ごみを出さない工夫が肝要です。

一人ひとりの心がけは、生ごみ処理機に負けない大きな効果を生むはずですよ。

地域包括支援センターだより

シリーズ②

「こんなサインを見つけたらまず相談を！」

今回は、高齢者虐待につながるサインについてお知らせします。皆さんの見守りや気付きが、虐待を未然に防ぐための鍵となります。皆さんの周りで「ちょっと変だな」と感じる事があれば、市役所や地域包括支援センターへ連絡ください。

《問合せ》介護保険課地域包括支援センター 24 2401

高齢者虐待のサイン

次にあげるサインはあくまでも虐待の疑いや可能性を示すものの例で、これらのサインがあれば必ず虐待が行われているというわけではありません。気付いたら、まずは相談ください。

家族と同居している高齢者から「家から帰りたくない」などの訴えがある。

近所付き合いがなくなり、最近見かけない。

高齢者が気候や天気が悪くても、長時間

間外にいる姿がしばしば見られる。



家の中から高齢者や介護者、家族の怒鳴り声や悲鳴、うめき声、物が投げられるような音が聞こえる。



家が荒れて



いる。



昼間でも雨戸が閉まっていたり、夜になっても明かりがつかない。

相談窓口

高齢者虐待に関する相談は、高年福祉課および各総合支所健康福祉課、各地域包括支援センターへお願いします。

相談窓口の一覧は、12月25日発行の市広報に掲載していますので、ご覧ください。